

松風平和

令和4年度

那覇市立松島中学校

学校便り [No. 13]

令和4年6月22日(水)

発行責任者 校長 喜屋武浩司

「今年も「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに参加します！」

去る6月17日(金)の1時間目、1年生を対象に「届けよう、服のチカラ」プロジェクトと題して、ユニクロ天久りうぼう楽市店から上原さんと桃原さんのお二人を講師に招き、「服の力」について講話をいただきました。

まず始めに、「服の力ってなんだろう？」の問いかけに、1年生の皆さんが話し合っただけで発表したのは、暑さや寒さを防いだり、虫や怪我から守るためという発表でした。積極的な発表に講師のお二人もびっくりしていました。生徒発表のとおり、「命を守るため」ということに加え、「自分の個性をあらわす」ためという説明がありました。それは、おしゃれだけではなく、所属や職業をあらわしたり、自分の気持ちをあらわしたりすることもあるということでした。

次に、「着なくなった服の力を一番上手に使っているのはどれでしょう」という質問に、「捨てる」「しまう」「あげる」のどれを選択するかというものでした。みんなの答えどおり、服の力を再利用するためには、「あげる」が一番であるということで、みんなの家に眠っている服をあつめて、難民など必要としている人に贈ろうというプロジェクトの説明がありました。どんな服をどのようにして集めるかの説明の後、集めた服が難民の皆さんに届くまでの動画を視聴しました。

最後に、1学年を代表して竹内雛琉さんが、「今回の講演で、服を寄付する事で助かる人達がたくさんいるんだな、とてもすごいことだなと思いました。また、服を届けるために、いろいろな人達が関わり協力していることも学ぶことができました。これからも、SDGsについてもよく考え取り組んで行きたいと思います。ありがとうございました。」とお礼の言葉を発表してくれました。

この活動はこれまで2学年で取り組んできましたが、今年は1学年を対象に講話を聞いて、さらに生徒会を中心に全学年で取り組んでいきます。ご家庭で着られなくなった服があればご協力よろしくお願いします。

「母校の後輩のために、教育実習に頑張ってます！」

6月13日(月)から7月1日(金)までの三週間、本校卒業生である3人が教育実習生として日々頑張っています。写真左から、社会科の佐々木萌(めい)さん、音楽科の砂川樺音(かのん)さんと嘉手川奏佳(そよか)さんです。今週から授業を担当し、わかる授業に一生懸命取り組んでいます。



